石川町



No. 189 平成28年 11月1日

発行/石川町議会 編集/石川町議会広報 編集特別委員会



▲地域ぐるみで伝統文化を継承する(谷地地区の獅子踊り)

2016

9月定例会

- P2 9月定例会審議結果
- P5 紙上中継 (各常任委員会)
- P6 9月定例会一般質問(町政をただす)
- P10 あれからどうなった?

(一般質問のその後は)

どう使われたのか

決算 審議



▲9月5日オープンの新庁舎

平成27年度 会計別決算審議

(万円未満は四捨五入)

	会計別		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額	採決	賛·反	
_		- 般 会 計	87億4369万円	81億6466万円	5億7903万円	認定	全員 賛成	
特別会計		国民健康保険	24億114万円	23億199万円	9915万円	認定	全員 賛成	
		後 期 高齢者医療	1億5424万円	1億5303万円	121万円	認定	全員 賛成	
	# 丰	介護保険	16億6291万円	16億945万円	5346万円	認定	全員 賛成	
		母畑財産区	1963万円	153万円	1810万円	認定	全員 賛成	
		中谷財産区	1453万円	38万円	1415万円	認定	全員 賛成	
	01	土地開発事業	1013万円	296万円	717万円	認定	全員 賛成	
		簡易水道事業	1億4180万円	1億3061万円	1119万円	認定	全員 賛成	
		宅地造成事業	4862万円	4694万円	168万円	認定	全員 賛成	
	水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金5087万円 は、建設改良積立金に積み立てをする			可決	全員	
II ANN KITANIE	業	収益的収支	2億6471万円	2億72万円	6399万円	及び 認定	賛成	
	許	資本的収支	1億2149万円	3億8360万円	△2億6211万円	المرادات المرادات		

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補てんした。)

正別 般質問 成 28 八事案件、 -成27年 業会計の 全化判断比率 議員発議を審議、その 8 日 か 69 5 人の その 日まで のほか多いがあり 0) としました 条例のi 8 あ 日 りまし 改正 \mathcal{O}

平成27年度主な事業

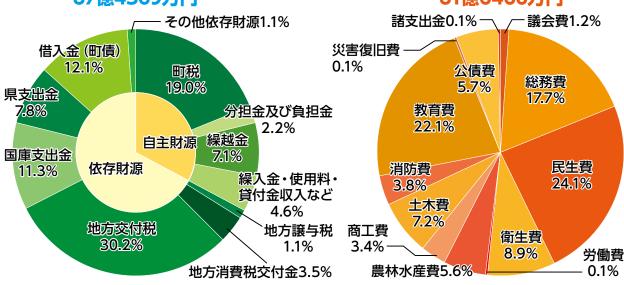
- 統合小学校建設事業
- ◆新庁舎建設事業
- ◆町営住宅改修工事
- 太陽光設備設置工事合併処理浄化槽設置
- 整備事業
- ◆旧森林技術センター 改修工事
- 特別養護老人ホーム 施設整備支援事業
- ◆ 道路整備事業
- その他、さまざまな 事業に使われました。

平成28年11月1日発行

歳入 87億4369万円

般会計決算の内訳

歳出 81億6466万円



予備費の充当は、 しかし、 予算の流用 やむを

◆代表監査委員 ▼監査委員 近内雅洋 渡邉英昭

審査の結果は、 どを8日間審査しました。 水道事業会計を2日間 審査結果 般会計及び特別会計な 平成27年度決算審査は 各会計と まれます。

率については、 全化法に基づく実質公債 費比率並びに将来負担比 町の財政状況について 地方公共団体財政健 いずれも

も決算の根幹については

適正に処理されておりま

ますので、 握し、滞納整理を行い適 切な収入未済額の圧縮に を的確に把握し適切な予 得ないと認められるもの いては原因等を的確に把 算執行をお願いします。 一層努力されることが望 また、 大幅に増加しており 収入未済額につ 事業の見通し 期健全化基準を下回って いることを確認しました。 されています。

また、

各般の施策・ 請に的確に対応しながら ニーズの変化や時代の要 とともに、 らなる努力をお願いする 財政の健全化に向け、 いことを十分に認識され 厳しい状況には変わりな 転しましたが、 財政の示す数値が、 今後も、 町民福祉(事業を計 引き続き 町 さ 良

平成27年度石川町健全化判断比率について (報告)

区分	早期健全化比率	平成 26年度 (参考)
①実質公債 費 比 率 (3年間平均)	7.0% (起債の許可が必要18.0%) (早期健全化基準25.0%)	8.5%
②将来負担 比 率	7.4% (早期健全化基準350.0%)	9.5%
③実質赤字 比 率	黒字決算のため算定なし	_
④連結実質 赤字比率	黒字決算のため算定なし	_

- *①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本と
 - した額に対する比率 ②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本と した額に対する比率

平成27年度石川町資金不足比率について (報告)

区分	資金不足比率	
水道事業 会計	資金不足がないため算定なし	
簡易水道事業 特別会計	資金不足がないため算定なし	
宅地造成事業 特別会計	資金不足がないため算定なし	

3

補正予算。条例改正。請願陳情。発議 審議結果

議案

石川町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の

石川町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

平成27年度石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

平成27年度石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

平成27年度石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について

平成27年度石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について

平成27年度石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について

平成27年度石川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

平成27年度石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について

平成28年度石川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成28年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

石川地方介護認定審査会共同設置規約の一部を改正する規約

新石川小学校屋内運動場建築工事請負変更契約の締結について

「慎重な憲法論議を求める」意見書の提出を求める請願

子どもの貧困対策の推進と強化を求める意見書

石川地方障害支援区分認定審査会共同設置規約の一部を改正する規約

請願・発議

「子どもの貧困対策の推進と強化を求める」意見書の提出を求める請願

「介護保険制度のサービス縮小を行わないことを求める」意見書の提出

「地方財政の充実・強化を求める」意見書の提出を求める請願

介護保険制度のサービス縮小を行わないことを求める意見書

平成28年度石川町介護保険特別会計補正予算(第1号)

平成28年度石川町水道事業会計補正予算(第1号)

石川町教育委員会委員の任命について

慎重な憲法論議を求める意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

平成28年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

平成27年度石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

平成27年度石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

石川町公告式条例の一部を改正する条例

石川町手数料条例の一部を改正する条例

平成28年度石川町一般会計補正予算(第3号)

石川町税特別措置条例の一部を改正する条例

石川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成27年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について

石川町税条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例

賛否の 討論

審議結果

可決

可決

可決

可決

可決 可決

可決

認定

認定

認定

認定

認定

認定

認定

認定

認定

可決及び

認定

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

同意

審議結果

採択

採択

採択

採択

可決

可決

可決

可決

も岩盤が問題となり、 小学校建設の

> はない。 るのに専門職を置 また、 建築工事

> > は 重 て 更 (契約は反対 大であり、 (渡辺 し

基礎につい ても明 かず をす 確で

いる執行部の責任

いたが、また同じ問 今度は大丈夫と思って 生じた。

事務職員に担当さ

ま

反対	賛 成
瀬渡関小谷辺根木	山中矢永草増瀬近根田村内沼野子谷内本 孝 美
京武芳子実一郎	英太義一伝知寿雅重重郎將夫明夫一洋泰

を求める請願

審議結果 賛成多数で可決 (賛成9、反対4

を整えることが、 授業を受けられる環境 望む子供たちの 議会の責務と考え賛成 た点は否めな かし、 日も早く正常に 完成を待 (草野伝明 11 ため 我

れなど、不手際があの資料不足や報告の 賛成 は、 資料不足や報告の遅 右 今回 岩盤処理等 の変更契約 あ

平成28年11月1日発行

議案番号

議案第54号

議案第55号

議案第56号

議案第57号

議案第58号

議案第59号

議案第60号

議案第61号

議案第62号

議案第63号

議案第64号

議案第65号

議案第66号

議案第67号

議案第68号

議案第69号

議案第70号

議案第71号

議案第72号 議案第73号

議案第74号

議案第75号

議案第76号

議案第77号

議案第78号

議案第79号

議案第80号

議案番号

請願第6号

請願第7号

請願第8号

請願第9号

発議第6号

発議第7号

発議第8号

発議第9号

4

本 会

議

審

議

議案第79号

反対

契約の締結について運動場工事請負変更新石川小学校屋内

さらに積算 題

今回の

継

任 委 員会 審

本町では、

▲和牛の採血の様子

農業再生専門員は を考えています。 た特産品の開発指導 の農畜産物を活用し 所等を整備し、 また、畜産振興の 将来的には、

総務産業建設 常任委員会

Q 農業再生専門員

業者数も年々増加傾 県農業普及所の勤務 向にあります。 指導により、認定農 就農者に対する営農 を推進するため、 を有した方を雇用し 経験者や、専門知識 善計画の指導、 定農業者への経営改 担い手の育成・確保 ています。現在は、

推進、家畜防疫の充 よる経営体質強化の 実、衛生対策に努め ため、高品質化等に



▲がん検診を受診しましょう

Q 策として、どのよう なことを実施したの

平成27年度は

A

文教厚生常任委員会

Q 向けた取り組みは。 がん早期発見に

います。

Q

がん検診受診率

の状況は。

めています。 布を行い、啓発に努 向調査や受診録の配 診受診についての意 保健協力員が検

A

平成27年度の受

施設検診を実施して 無料化、病院等での 象者に個人負担金の ては、一定年齢の対 び乳がん検診につい また、子宮がん及 増)、大腸がん検診 $54 \cdot 9\% (0 \cdot 9\%$ 68 · 2 % (2 · 8 %

て取り組んでいます。 害や営農再開に向け 員を配置し、風評被 から、農業再生専門 のため、平成25年度 原発事故の影響払拭 本大震災による東電

増)、子宮がん検診 前年度より受診率は 増)、乳がん検診 50 · 9% (7 · 1% 58 · 7 % (3 · 1 % 向上しています。 4・2%(10%増)で、

受診率向上の対 A

ます。 います。 検診対象者に、 個別通知を実施して 診率向上に努めてい 通知をしています。 ん検診対象者全員に 個別勧奨を行い、受 さらに未受診者には 子宮がん及び乳がん 平成28年度は、

診率は、肺がん検診

胃がん検診

の考えは。 Q 上に向けた取り組み 今後、受診率向

考えます。 年代から継続して検 ります。特に、若い 周知を図る必要があ 診の重要性について しい知識の普及、 発することが大切と 診を受けることを啓 がんに関する正 検

根本 重泰 議員

専門の調査をした上で最終判断し

の投資となるのか

取得を決断する

までの経緯と取得価格 質問

得に向けた意向を回答。ね、平成28年2月に取け、町として検討を重 0 建物含めて203万3 最終的な意向確認を受 取得価格は、 0 円です。 平成27年5月に 土 地

質問 で合計80戸の活用法は。 1棟20戸、4棟

若者向けの住宅を緊急ないが、最初の一棟は、 に整備したい。 まだ決定してい

質問 されるのは、 4棟全てが活用 何年ぐら

まず1棟を1、

かかるのか。

を確 備を図っていきたいと くとも年に1棟ずつ整 2年の間に整備し っています。 保。 その後、 少な 20 戸



▲80戸の取得は町に何をもたらすのか?

1の補助金が見込まれを活用した中で2分のを活用した中で2分のを活用した中で2分ののでは、社

~70年です。人が住め造りで、耐用年数は60 ば設備の更新も必要で 質問 年の鉄筋コンクリート この建物は 築 35

算されますが、 の補助金が見込めるの 棟20戸で事務経費込み を参考にすると、 質問 1億5000万円と試 あたり700万円、 浪江町の改修例 何らか <u>1</u> 戸 1

> 来への投資になるのか。 ただ安いからと

す。

本当に石川町の未

とは、 うなものにしていきた も30年ぐらいはもつよ いと思っています。投で、最終的に判断した 問題を全部撤去した上 資したからには最低で いと思っています。 いうだけで購入するこ 専門的に調査し、 指示していませ

すが一戸建ての住宅政考え、地道ではありま 討していただきたい。策の補助拡大などを検 要望 若者世代定住を

雇用促進住宅の取得は決定したのか

耐震診断結果や費用など総合的に検討し、判断する

らか。 質問

改修費用はいく

困難です。

現時点では算出



渡辺

質問 帯の入居見込みは。 町営住宅は古く 若者や子育て世

実 議員

実に建設したほうが良 質問 4棟分の活用方針 10戸、 20戸と着 ます。

答 弁 か。 質問

なぜ、

雇用促進

制限があり、

期待でき

住宅取得に転換したの

いか。 収支、 質問 見込み数等を出してか 判断するべきでな 解体費用、 改修費用や運営 入居

帯のニーズに応えられ

活用したい。

若者や子育て世 町営住宅の老朽

時点で、 答 弁 で、判断します。調査結果が出た

A

質問

取得しない判断

もあるのか。

もあります。

取得しない

·結論

質問 答 弁 らかかるのか。 と見込んでいます。 4棟で約2億円 解体費用はい <

質問 りません。議会には十一答弁 議決事項ではあ 分説明いたします。 会の議決になるのか。 購入の判断は議

設する住宅の建築費は。 1戸2500万円です。 外構を含めて、 旧県合庁跡に建

間の重点課題は。 整備を目指します。 商業の振興、 ふるさと教育、農林業・ 若者の住宅整備、 子育ての環境整 まちなか再生の 鉱物館の

用促進住宅は民間に任を出すべきであり、雇 時点で検討したい。 せた方がよいと思うが。 調査結果が出た

Q

新庁舎が完成し、今後 の町づくり方針は

質問

公衆用トイレや

公共施設のトイレに大 人用介護ベッドを設置

A

設置を考える

Q

老後を 若者に夢と希望を、 高齢者に安心した

を持てる、そして安心 完成し、これからの町質問 念願の新庁舎が つくりを考えています。 して老後も暮らせる町 づくりの考えを伺う。 若者が夢と希望

要です。

できるところ

から設置を考えます。

野に入れたユニバーサ

ルデザインの考えが必

答 弁

すべての人を視

する考えは。

答 弁 は。 質問 福祉複合施設への設置 旧石川小の文教

考慮していきた

質問

3期目後半2年



南町にある公衆トイレ

ベッドを



議員

断者

同齢者世帯の生活を対

という調査結果もある 地域は衰退していく」 一年半過ぎたが「その 学校が閉校して

質問

增子美知夫

地域が求める支援が提供できる体制整備に取

6

の分譲地」要望の地域の跡地を「若年層向け もあるが町の考えを伺

だきたいと考えており 並行で検討させていた 町として廃校の活用と という見通しも踏まえ 人口減少が進んで行く 今後、 ますます

石川町役場

守るために取り組んで 質問 いる事業を伺う。 高齢者世帯」の生活を 独居 高齢者・

げていただき協議中で

で準備委員会を立ち上

議会設立」に向け地域策として「地域自治協

進み活動の担い手不足

いますが、

人口減少が

様々な取り組みをして

づくり委員会」で

現在、

各地 域 \hat{O}

町の施策を伺う。

家事支援・家周り手入 ていない軽度者に対し 答弁 介護認定を受け

向性が出た地域で、 公共施設を移転する方 して老朽化した2つの

閉校跡地活用と

ポート事業、緊急通報れ等を実施する自立サ

護支援センターによる システム設置事業、

訪問、 委員、 把握に努めてお 地区で民生児童 必要な高齢者の 実施し、支援が る情報交換会を 福祉機関等によ さらに各 区長及び

質問 い施策を伺う。 なければならな 進的に取り組ま

基盤の施策は地い町づくり」の 「住み ょ

ります。 独居高齢者世帯

今後、

を提案しているところの支え合いの必要性」各団体において「地域 です。 寿命を伸ばす施策の実援の提供、そして健康 ると考えております。 活支援・介護予防であ 施に努力いたします。 域主体で取り組める生 地域が求める支

ます。 いただくことを要望しに届くよう取り組んで らに行政が町民の生活 会福祉の両輪です。さ 要望 と「高齢者支援」 「子ども支援 は社



▶役場新庁舎の視察 (沢田ミニデイ白鳥の会)

町立墓地公園の約束はどうなっている

早く決定し提案する

あるのか伺う。 答弁は同じ、

何回質問しても

やる気が



中村孝太郎 議員

やる気は十分あ

ります。 案したいと思います。 早く決定し提

石川町総合運動公 園基本計画の見直 しについて

6

スポーツに関わる

は困ります。そのようものを何もやらないで

なことを念頭に、

町民

10年から15年計画で陸 基本計画では、

質問



の建設は困難な状況かせん。現在の予定地へ

討しています。

新たな候補地を検

計画策定に至っていま

々 0)

計

画予定地

域の

理解が得られず

取り組み経過と具体的 6年経過しているが、

時期を伺う。

建設を約束し、 年に町民に、

町長は、

墓地公園 すでに

▲いつになる町立墓地公園

ついて伺う。

今後は、 は困難と考えて他の計画の整備 います。 況が大きく変化 が策定された当 しており、 会情勢や財政状 時と現在では社 計画見直し 基本 その 計

の必要性を認識してい 質問 運動公園ですか

もないことから今後のは明文化された自治体 検討課題とします。 もまだ少なく、 条例化は全国 県内で

ることになって 場、武道館、プー トなどを整備す テニスコー 見直しを積極的にやる のニーズに応えられる 気があるか伺う。

思います。 ので、 議会に諮りたいと 早い時期に見直 放置できませ

に広く活用でき捗状況と、町民

いるが、その進

る施設にするた

めの計画見直し

の制定について 石川町公契約条例

について、業務に従事設の委託業務の公契約 工事や物品の購入、施間企業に発注する公共 質問 の考えを伺う。 ための公契約条例制定 会的価値の向上を図る 務の質の確保および社 働条件の確保と当該業 する労働者の適正な労 国や市町村が民 施

沢田地区自治協議会 設立記念総会

ŧ 会

> 協議を進めています。 イス等を受けながら

先進地視察や大 各種会議や説明 んでいるところです。

学教授からのアドバ

他の地区において

平成27年9月 定例会より

地域自治協議会の 設立について

の設立について」の 「地域自治協議会 環境の変化によりそ 質問に対し、 「地域 の後は。

です。 な姿にしていくかを ちの地域をどのよう 員会を設置し自分た ター内に設立準備委 ●現在、 協議しているところ

わいづくりを進

設立記念総会

議会」が設立されま る「沢田地区自治協 は に町内で初めてとな 各地区の進捗状況 9月25日

▲沢田地区自治協議会

答弁であったが、 域自治協議会の設立 の課題解決のため地 に取り組む。」との

各自治セン

キング事業」を実施 ちなかプレイスメイ を視野にした、「ま 屋敷の再建・利活用 しています。 としては、鈴木重謙 具体的な取り組み 屋敷周 ショップを開催し 活用を考えるワーク 利活用予定の旧石川 めています。 小学校です。 福祉複合施設として もう一つは、 施設利 文教

理·運営等、

いの中で、

町民に親 話 神のもと、

機能

ていく「協働」

の精 管 合

町民と共に作り上げ

ŧ 設立に向けて取り組 また、中谷地区で 平成28年度中の

す。」との答弁であっ 様との協働体制をど 問に対し、「行政だけ 画の課題は. ではなく、 では進められるもの んが、その後は。 ノ構築していくかで 「まちなか再生計 町民の皆 」との質 校)と共に新し 辺の環境整備や 取り入れながら 校と学法石川高 生(県立石川高 いアイディアを 未来を担う高校 ベントなど、

仕事場、研究集会の意味。講師の話を参加者が一方的に聞くのではなく、参加者自身 が討論に加わったり、参加体験型、双方向性のグループ学習。

まちなか再生計画の現状は

まちなかのにぎ

▲町民の求める施策を考えるワークショッフ

進めています。

まれる施設を目指

議場58年の

▲歴史を心に刻み閉場宣言

開場を記念し

議場コンサー

五カ村が合併、新しい30年3月31日に、一町の昭和

五 30

の議決機関として、議石川町が発足し、同気

あらためてその責任の 重さを認識し、更なる 重さを認識し、更なる 食託に応える」と式辞 を挙げて町民の皆様の 「新議場の開場を機に、行われました。 下山田和雄議長が、 日、新議場の開場式が した。

皆様の協力により「石が開かれました。石川が開かれました。石川では、議場コンサート

川町民の歌」「アイネ・カライネ・ナハトムクライネ・ナハトムが「を添えていただきました。

8

▲石川フィルハーモニックによる演奏

議会を傍聴しまし よう

12月定例会「一般質問」は12月12日(月)の予定です。 議会は、本会議・委員会とも傍聴できます。

高校生の声

U 20

学法石川高校 3 年 遠藤 日向

世界の舞台を経験

した。



した。 界大会に二度出場しま 場したことがあります。 技で国際大会に三度出 アジア大会に一度、 私は、 今まで陸上競 世

いうことでした。

人達には勝てない」と

標は高校記録を出し、 うところで開催され、 コロンビアのカリとい 技選手権大会でした。 した。その時の私の目 の世界ユース陸上競 一回目は高校二年の

> て思ったことは「この 勝進出が決まりました。 に走り、私は3位で決チオピアの選手と一緒 た。予選はケニア、エ メダルを取ることでし しかし、予選を走っ

から離され、 000 がくらい りましたが、 行くと決め、 きるだけ付いて 決勝戦では、 位という成績で 5 2 走 で

一年生になり、その一年後、

という結果で終わりまいで離れてしまい13位 勝てない」とまた思っ その時、私は「どうせ の時は2500 がくら ていました。結局、 権に5000㍍で出場 することができました。 世界陸· 上競技選手 そ この種目で日本人初の リンピックに出場し、 に勝ちます。 もう一度「世界の舞台 メダルを取ることです。 訂 今の私の夢は東京オ 正

を証明したいと強く思 度経験した私は南アフ リカ勢の壁を破りたい、 いました。 日本人でも勝てること 「世界の舞台」を二

力と精神力を身につけ、 ならず、世界で戦える もう二度と弱気には

▲全国高等学校総合体育大会 陸上競技 男子1500m 優勝

畑線)の進捗状況のポス(石田地内~母の石川バイ す」とあるのは 前半の供用を目指答弁中「平成30年度 問」の中で、 「12月定例会一般質 した。おわびして訂 成30年代」の誤りで 正します。 No. 1 8 6 の 5 2 月 根本重 1 日 平

副委員長 委委委委 議会広報編集特別委員会 員員 增子美知夫 小木 芳郎 雅洋 根本 瀬谷 寿一 重泰

12

南アフリカ勢

ど、東日本にも甚大な 陸し、台風10号は、過 被害をもたらしまし の台風が日本列島へ上 れる一方、今年は多く せ北海道や岩手県な み」と発表されました。 調に推移し、「平年並 恵まれたことから、順 の作柄概況は、天候に と福島県における水稲 去に例がない動きを見 例年の収穫が見込ま 農林水産統計による

町は…、我が家の防災 は…、と考えてしまい 伝えられる度に、我が 各地の被害の様子が

ことと思います。 が、大切な家族を守る ち、準備を進めること より防災への意識を持 万が一に備え、日頃 小木 芳郎